

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原哲雄	法人・事業所の特徴	「利用者一人ひとりの思い、家族の希望に寄り添います」「人と人がつながり、共に支えあい、共に笑い合える暮らしの輪を広げます」「住み慣れた地域でのその人らしい暮らしを支えます」「利用者の暮らしを支える全ての人々の思いを大切にします」をモットーに、ご家族や関係機関と連携して、自宅で生活する利用者様の24時間365日を捉えた個別ケアの提供を目指している。
事業所名	小規模多機能ホーム あったか	管理者	西岡佳代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	人	1人	5人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価の内容について、日頃から職員間で話し合う。 職員個々の持つ思いや特性を活かし、ご本人への関わりに繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員で振り返りをしたことで、確認できた項目が多かった。 職員が意見を出し合い、他の職員の意見を聞くことで、自分自身ができていない事、できていない事を振り返ることができたのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員によって、関わっている人とそうでない人とで差があると思う。しかし、働き方や役割の違いがあるので、その差は仕方ないのではないかと。ミーティングで細かく話し合われていることが、日頃の様子や自己評価で確認できた。(地域) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価の取組みについて、ミーティングなどの時間を活用して振り返りながら、職員一人ひとりの意識を高める。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ご本人の過ごしやすい環境を継続して提供する。 自宅でも事業所でもご本人が安心して暮らせる環境作りを提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内に不快な臭いがいがないように、意識することができた。 不快な匂いがしない。開設当初から意識していることがわかる。(地域) 職員に騒音(不要な私語や物音)に対して意識差があることが課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前より、事業所の玄関に季節感があり工夫しているのがよくわかる。(地域) 匂いだけでなく、音、明るさ、暗さもそれぞれ好みに違いがある。それぞれの利用者が心地よく過ごせる空間作りを意識出来ているので、継続することが望ましい。(地域) 	<ul style="list-style-type: none"> 音や匂い等も含めた居住環境、人的環境の改善に継続して取り組む。 個々の利用者の心身状況に合った安全な居場所作りを、リスク対応も踏まえて取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に事業所の取組みを、発信する。(ブログ・広報誌・パンフレット) 	<ul style="list-style-type: none"> 家族アンケート集計結果から地域への挨拶も出来ており、良い評価を受けていると思う。(地域) 	<ul style="list-style-type: none"> 外部から見て、行事やイベントに参加することは、事業所職員に大きな負担になるように感じる。(地域) 以前に比べ、“あったか広場”や“小規模多機能ホームあったか”を知っている住民が増えた。(地域) 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの広報活動を振り返り、情報をタイムリーに発信できるように改善する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> お一人おひとりが望んでいる地域での暮らしの実現に向けて、出来ることを一つずつでも提案していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 体調管理を行い、利用者の地域活動をサポートできた。また、馴染みのお店や地域の資源を活用することができた。 過去の登録者の親族から介護相談を受け、併設する居宅介護支援事業所が担当することになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 開設当初から比べ、高齢になってから砥部町に移り住んできた利用者が増えている。そのため、地域と言う捉え方が難しく感じられる事もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者自身の持っている力を、引き続き地域の資源として活かせるような支え方を提案、提供していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議を通して事業所が地域の困りごとが相談できる窓口の一つになることを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の困りごとが少しずつであるが、あったか広場に届くようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事と一緒に開催している事業所も多い中、地域の色々な議題の話し合いや情報交換の場として、しっかり取り組まれている。(地域) 運営推進会議の中でも話し合わせ、5つの項目についても真面目に取り組まれている。(地域) 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議を開催する時間帯を見直すなど、家族様や利用者ももっと参加できるように工夫する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の防災についての取組みを、書面にまとめ、継続してご家族や地域の方に配布する。 避難訓練などを通して家族や地域の協力体制を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を実施され、防災についても常に意識して取り組まれている。(地域) 今回、管理者より、風水害等の防災計画や法人の緊急連絡網について運営推進会議で地域の方に説明した。 	<ul style="list-style-type: none"> 坂道の押し方など、車椅子の介助方法を教えてもらいたい。(地域) 避難訓練について、運営推進会議のメンバーには参加だけでなく、役割を担ってもらってはどうか？(利用者の避難後の見守り) 夜間想定ではなく、実際に夜間に避難訓練をしてはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練などを通して、家族や地域と災害発生時の強力体制を強化する。(前回の改善計画を再度継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 23 日 (18 : 00~20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	11 人	4 人	1 人	0 人	16 人

前回の改善計画

- ・職員カードについては、継続的に活用する。
- ・ご本人の「望んでいる過ごし方」を継続して計画・実施し定期的に再評価を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員カードで家族様と繋がるきっかけとなり高い評価を頂いている。
(新人職員など、本人や家族に知って頂く手段)
- ・ミーティングにおいて望んでいる過ごし方について職員間で評価出来たが、継続する際の課題がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	8	0	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	8	2	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7	5	4	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7	6	3	0	16

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・同時期に複数の新規利用者の受け入れにあたり、初期支援の大切さを職員間で意識する事ができた。
- ・利用者ご本人とご家族に対しての声掛けや対応の配慮ができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者本人の思いとご家族の思い違いから、折り合いがなかなかつかず、対応に苦慮する事があった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・職員カードに対しては、継続して活用する。
- ・初期支援で培った利用者・家族への対応を継続して他の利用者や家族にも広げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 23 日 (18 : 00 ~20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	9 人	2 人	0 人	16 人

前回の改善計画	・ご本人の「～したい」の実現に向けて、職員全体が具体的な支援方法とその目的について理解を深めることで、職員ごとの「ご本人の思い」に対する捉え方や取組み姿勢の差異を減らすことができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「～したい」の実現のため、写真や動画を活用し、具体的な支援方法を職員間で共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	9	3	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	11	2	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	5	6	5	0	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	8	2	6	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・以前に比べると職員間で本人の「～したい」について話すことが増えた。 ・ご本人の持っている力を活用し、その人らしい過ごし方ができるよう職員間で話し合い、少しずつ実践することができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「～したい」を叶えた際、関わった職員と関わっていない職員とに若干意識の差異がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・具体的な支援方法をできることから利用者ごとに作成し、ご本人の「～したい」の実現に向けて取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 23 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	5 人	0 人	1 人	16 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ご本人の生活の質の向上のために、生活状況や状態変化に合った、介助方法や関わり方をその都度見直していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、介助方法や環境についての写真や動画を話し合いの際に活用し、実際に対応して確認し見直すことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	9	4	2	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	6	0	1	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	7	7	1	1	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	7	2	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	6	2	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 視覚から入る情報伝達の手段を用いることで、職員間で共有し確認し合うことができた。職員もほとんどがその情報の方がわかりやすく、伝えやすいと意見がでた。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 確認はできたが、対応を継続するために必要な変化に関する情報の伝達が、不十分なことがあった。 10 個以上の利用者の以前の暮らし方の把握については、難しいと捉える意見が多かった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の生活の質の向上を目標に、写真や動画を活用した情報共有を強化し、「ケア方法の統一」及び「環境の見直し」を実施する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 10 月 20 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	4人	0人	16人

前回の改善計画	(前回と同様の改善計画を継続) ・地域資源を活用する目的や活用方法について職場内研修を実施、エコマップを用いた事例検討を行うことをご本人にとって必要な社会資源を見つける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・今まで利用者が持っていた力や活動そのものが地域資源であることがわかった。自分達は、利用者にとっての地域資源という視点で捉えていたため、みつけにくかった。利用者自身が地域資源として実際にその力を利用中に発揮して下さっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	4	9	3	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	8	4	3	1	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	9	1	3	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4	5	6	1	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人が以前から参加していた地域の活動に参加ができるようになり、事業所でもレクリエーションの先導役を自分の役割として活動している。 (それを理解し、職員がサポート役に徹している) 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の利用者の多くが町外からの移住者であるため、地域にこだわらず生活している方については、“その人にとっての社会資源”をみつけにくかった。 (開設当初から比べると地域にこだわらない方が増えてきた) 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者自身が社会資源・地域資源である事に気付けた。 ・利用者自身の力を発揮してもらえるように、職員はサポート役として関わりを継続する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 23 日 (18:00~20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	9人	3人	0人	16人

前回の改善計画
・ご本人とご家族を取り巻く地域環境に目を向ける。

前回の改善計画に対する取組み結果
・地域資源に目を向ける事はできたが、事業所側からのアプローチはあまりできなかった。
・家族様から、地域資源の紹介を頂いた。(訪問理美容)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	9	1	1	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	12	3	0	1	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	10	4	2	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	6	1	1	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご家族様から地域資源(訪問理美容)を紹介して頂いた。それ以降継続して利用できている。
・ご本人の状況やご家族様の希望に合わせた、柔軟な通い・泊まり・訪問のサービス提供ができている。
(ご本人やご家族の体調不良時においても)

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の変化に気づき、共有できるようになったが、対応方法の継続性や、臨機応変な対応力には職員により差がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・ご本人・ご家族にとって、多機能で柔軟なサービス提供を継続していくために、ご本人やご家族を取り巻く地域、環境にも目を向ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 23 日 (18:00 ~20:30)

6. 連携・協働

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	8人	7人	1人	0人	16人

前回の改善計画	・ 広報紙だけでなくブログを有効活用し、小規模多機能居宅介護の取組みを継続して発信する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ ブログを用いて広報活動に取り組むことができた。 ・ 取材を通して自分達も事業所の取組みを振り返ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	9	4	2	1	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5	7	3	1	16
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	9	5	2	0	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	10	5	0	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ 研修などを通して、他事業所と繋がることで、自事業所についてアピールすることができた。 ・ 自分達の取組み（子育て支援団体・サロン活動）を理解し、交流活動につなげることができた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・ 一部の職員に限られている活動や会議もあるため、参加人数が増えていない。 ・ ブログを使って広報活動しているが、更新がタイムリーでないこともあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・ 事業所のブログや広報誌を中心に、職員一人ひとりが情報発信することを意識して実践する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 10月23日 (18:00~20:30)

7. 運営

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	9人	2人	1人	16人

前回の改善計画
・台風による大雨の際、民生委員の方から心配して声を掛けて頂いたことを感謝している。事業所から地域へ向けての働きかけが不足しているので、双方向の情報発信に取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果
・今年度も台風等による大雨の際、民生委員から前年と同様に心配の声を頂いた。法人内での避難等の対応は連携を取り行えた。事業所から地域へ向けての発信や働きかけが、タイムリーでなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	9	3	1	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	6	0	2	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	7	0	2	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	6	7	2	1	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・運営推進会議において、地域の方や家族と意見交換し、事業所のあり方について話し合うことができる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との協働した取り組みという視点では、行事等が中心となり拠点づくりとしては、不十分であった。
・事業所から地域に向けての発信や、働きかけが不足していた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・(前回と同様の改善計画) 継続

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 23 日 (18 : 00～20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	12 人	4 人	0 人	0 人	16 人

前回の改善計画	・内部・外部問わず、継続的に研修へ参加してスキルアップに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員全員が内部研修だけでなく、外部研修についても積極的に参加できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	13	2	0	1	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	9	7	0	0	16
③	地域連絡会に参加していますか	5	7	2	2	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	10	4	1	1	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ヒヤリハット報告の提出率が上がるよう働きかけをし、実際に提出率が上がった。リスクポイントについては、主任と報告者の差異を減らすとともに対策を検討することができた。 ・安全な環境を整えるために、写真に残し、共有することで統一したケアに結びついた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・今年度は、地域からの研修会にお誘い頂いたことで参加の回数が増えたが、事業所からの積極的な働きかけはできなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・法人のキャリアアップ制度も活用し、職種や経験を問わず、様々な資格取得に取り組む。 ・事故を減らすために、ヒヤリハット報告の確認作業は継続する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 23 日 (18 : 00 ~20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	9 人	1 人	0 人	16 人

前回の改善計画	・ 成年後見制度について、職員の理解を深めることができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 利用者が成年後見制度を活用したことで、職員の理解は深まった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	14	2	0	0	16
②	虐待は行われていない	12	4	0	0	16
③	プライバシーが守られている	11	5	0	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	13	2	1	0	16
⑤	適正な個人情報の管理ができています	12	2	1	1	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 利用者への対応する際の不安や負担を職員一人で抱え込まず、他職員と共有することで不適切なケアにならないための取り組みができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 「時間がない、心にゆとりがない。」といった気持ちの時に不適切ケアにつながる危険性がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 自分達がゆとりを持ってケアするために、日頃から不適切ケアに関して話し合うことで意識を高める。 ・ 職員間で対応方法について振り返り、ケア内容や業務内容の見直しを定期的に行う。	